

Pan-ReportTM

発行: PanRolling Inc.
年間購読料 63,000 円
(郵送会員4,000円プラス)
無断転用禁止

#1001, Duo, 7-21-3, Nishishinjuku, Shinjuku-ku, Tokyo, Japan, 160-0023 〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-21-3-1001 fax 03-5386-7393

《小豆相場の天井についての考察 第2弾》1/2 **小豆関連**

株式会社三忠 金野秀樹 E-Mail: sanchu@mb.infoweb.ne.jp

限月の選択についての検証と考察

先日、投資日報社の先物市場98年10月号での「小豆相場の天井についての考察」の記事にて、限月の選択について「限月の選択としては、期先限月3本の内の高い限月を売りの限月とするのが良い。と言うのは、ひと相場3ヶ月とすることを考慮に入れれば、期近限月を売っても下げ途中で納会してしまう可能性があるからだ。」と述べましたが、その後、自分でも本当にこれで良いのか気になっていたもので、検証してみました。以下、参考になればと存じます。

方法

- ・記事で示した「表1 小豆相場の天井」のそれぞれの天井の納会日の翌日に売り建て(大引) 翌月以降の毎月の納会日に各限月手仕舞いとした場合の差金を算出しました。ただし1988年2月限発会以前の先限は新甫発会が翌月初日なので、数日ずれます(遅れます)。
- ・以上のデータを使い、検証しました。

結果と考察

1 .何月限に仕掛けるかと言う観点で見ると(表1)
・春の天井でも天候相場の天井でも、8~11月の秋の底を付けに行く限月が売り有利となっています。
これは、パン・ローリングの「売買限月選択法」のデータとも一致するものです。
これらの限月が絡んでいたら、売りの限月としての有力候補となります。

2 .何番限に仕掛けるかと言う観点で見ると(表2)

表1 限月別の差金の平均

限月	
	631円
	431円
	313円
	389円
	559円
	836円
	1,127円
	1,549円
	1,567円
	1,909円
	1,623円
	1,215円

第1弾「小豆相場の天井についての考察」の記事は、投資日報社発行の月刊誌「商品先物市場」に掲載されました。

www.panrolling.com/saya/konno9810.html にも掲載。

「商品先物市場」のご購読については、投資日報社までお問い合わせください。

〒540-0051 大阪府中央区備後町3-1-2 投資日報社
TEL 06-203-7001(代) FAX 06-201-0177
e-mail: tn@tkc.att.ne.jp

監修 / パン・ローリング TEL03-5386-7391 後藤
<http://www.panrolling.com> E-mail; goto@panrolling.com

Pan-ReportTM

発行: PanRolling Inc.
年間購読料 63,000 円
(郵送会員4,000円プラス)
無断転用禁止

#1001, Duo, 7-21-3, Nishishinjuku, Shinjuku-ku, Tokyo, Japan, 160-0023 〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-21-3-1001 fax 03-5386-7393

《小豆相場の天井についての考察 第2弾》2/2 **小豆関連**

- ・どちらの場合も、当限と2番限は他の限月よりも売り妙味が薄い様です。
- ・春の天井では逆ザヤであるため少しでも高い中限(2~4番限)が心理的に売り易いのですが、期先限月の方が有利となっています。
- 期先限月で売り有利の9~10月限あたりが新甫でたっていたら、売り限月としての有力候補となります。
- ・天候相場の天井では、秋の底に向けての下落は約3カ月が区切りとなっている様なので、「底打ちする月に納会落ちする限月」と言うことで3番限~4番限が候補となります。

3. 何ヶ月後に手仕舞いか(表3)

表2 何番限を売るかの考察

各限月(何番限)を売ってXヶ月後に仕切った場合の差金の平均

春の天井	1	2	3	4	5	6	平均	最大値
当限	128円						128円	128円
2番限	159円	692円					425円	692円
3番限	111円	781円	861円				585円	861円
4番限	146円	879円	1,190円	596円			703円	1,190円
5番限	236円	933円	1,129円	775円	1,484円		911円	1,484円
先限	384円	1,006円	1,324円	966円	1,401円	1,210円	1,048円	1,401円

天候相場	1	2	3	4	5	6	平均	最大値
当限	1,269円						1,269円	1,269円
2番限	1,081円	1,609円					1,345円	1,609円
3番限	987円	1,643円	1,714円				1,448円	1,714円
4番限	894円	1,577円	1,405円	1,846円			1,430円	1,846円
5番限	981円	1,611円	1,359円	1,524円	1,304円		1,356円	1,611円
先限	544円	1,232円	1,119円	1,303円	973円	875円	1,007円	1,303円

- ・春の天井での売りは、比較的長く玉を持っていて良さそうです。天井圏での先限を納会まで持つ様なやり方も考えられます。
- ・天候相場での天井の売りは、約3カ月で下げ相場に区切りが付くため、長く持つと逆に値洗いが悪くなってしまいます。
- 居過ぎは避ける、と言うこととなります。

表3 何ヶ月目で手仕舞うかの考察

それぞれの天井でXヶ月目に仕切った場合の平均

	1(翌月)	2ヶ月目	3ヶ月目	4ヶ月目	5ヶ月目	6ヶ月目
春	194円	858円	1,126円	779円	1,443円	1,210円
天候	959円	1,534円	1,399円	1,557円	1,138円	875円